



「試薬管理システム」は、臨床検査技師である開発者が、自身の実務経験に基づき、臨床検査業務の試薬管理に特化したシステムです。

システムを導入することで、Lot No、有効期限及び使用開始日・終了日を台帳に転記する作業が省略できます。

棚卸等の集計、発注機能も備え、試薬に関わる業務をシステムで一元管理します。

特長

バーコードを活用し作業を簡略化

注文・入庫・出庫の各処理では、バーコードを利用します。

入庫処理では、GS1-128規格のバーコードの読込により、

試薬選択、使用期限・ロットの入力を簡単に行えます。

JAN、2次元、特殊規格のバーコードにも対応しています。

試薬管理ラベルの利用

入庫処理時に管理方法に応じた枚数を発行します。

バーコードの無い試薬は「管理ラベル」にて試薬管理を容易にします。

管理ラベル (実物大)

104020 包装 1(4)
AMY-G7試薬1
入庫日 2026/05/30
使用期限 2027/02/02
Lot 3M0172
在庫定数 1 / 注文数 2



使用する最小単位ごとに使用状況を管理

1つの包装(箱)の中に複数の容器が入っている試薬は、内訳の容器で在庫数の確認ができます。

これにより使用状況に合わせた注文・在庫管理が可能となり、使用頻度の低い試薬は使用期限切れによる廃棄を減らすことができます。

試薬の在庫切れ(注文忘れ)を防止

試薬毎に「在庫定数」「注文数」の設定が可能です。

出庫処理により、在庫数が設定数未満となりますと、自動的に次の注文が登録されます。

複数同一装置での出庫管理

1つの試薬を複数の同一装置で使用する場合、装置毎に使用した試薬のロット情報等を管理します。



導入から運用まで継続サポート

- ・利用者による初期登録作業の負担を軽減するため、お取引先に試薬情報を提供いただき、その情報を弊社にてマスターに登録します。
- ・全ての操作はログに記録されており、現在の状態となった経緯を照会することが可能です。



基本機能

注文登録	注文する試薬を登録します。注文定数の増減、取引先への伝言登録も可能です。
発注処理	各取引先への発注書を発行します。(システム構成により、メール、FAX送信可能に)
注文履歴	注文履歴、納入状況を照会・印字します。
入庫処理	納品された試薬を入庫します。入庫した試薬には「管理ラベル」を発行します。
入庫一覧	入庫履歴を照会・印刷します。
出庫処理	バーコードを読み込ませて出庫します。 ※次の出庫試薬でLot Noが変わる場合は注意メッセージを表示します。
出庫一覧	履歴を照会・印刷します。管理者による承認機能を有します。(ISO対応) ※試薬管理台帳(使用試薬のLot No、使用開始日・終了日 の記録)の機能を有します。
棚卸処理	入出庫及び現在の在庫を照会・印刷します。購入金額の集計も可能です。
在庫一覧	現時点の入庫数、在庫(内訳)数、及び発注済み未納数を照会・印字します。
使用期限管理	使用期限間近、あるいは超過した試薬を検索します。
Lot No管理	同一試薬でLot Noの異なる試薬を照会・印字します。
毒劇物管理	対象試薬の受入量、使用量、在庫量を管理します。責任者の在庫照会を記録します。

システム構成 (例)

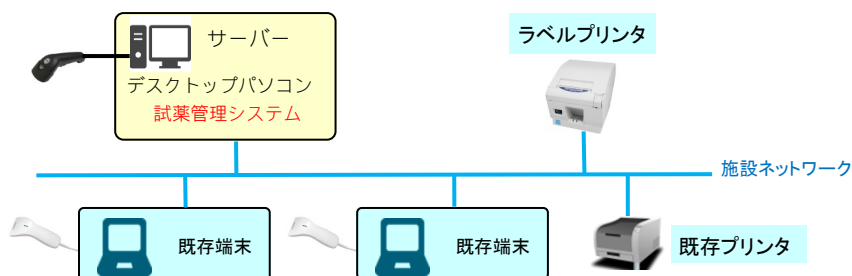
サーバー機能を有したデスクトップパソコンを設置します。スタンドアロン、インターネット接続、施設既存ネットワーク利用と、設置環境・運用に合わせてシステム構成を設定できます。

最小構成(スタンドアロン)



- ・ノートパソコンに変更もできます。
- ・インターネットに接続することでメール(PDF添付)にて発注可能です。
- ・既存プリンタを、帳票用プリンタ兼用とすれば、導入費用を抑えられます。

既存ネットワーク・機器利用



- ・試薬管理システムのサーバー用端末を施設のネットワークに接続し、既存端末上で試薬管理システムプログラムをご利用いただけます。(サーバーを含め、最大6か所で試薬管理システムが利用可能です。)
- ・弊社にて、入庫用に有線2次元バーコードリーダーを1台用意します。
- ・ラベルプリンタ、プリンタ、バーコードリーダーは既存機器を使用します。